

テーマの設定理由

身近にある音は様々な形態で存在する。園児にとっても音の存在は興味や関心を引くものである。音は言語を超えてつながるものでもある。様々な体験を通して音への探求心を培い、多様な人とのコミュニケーション能力の芽生えを体感させ、表現する楽しさを園児に味合わせたい。

活動スケジュール

	活動内容	対象クラス・人数
①	サンシャイン水族館、イケ・サンパーク遠足	4歳児10名 5歳児7名
②	遊び歌ステージへの参加	4歳児10名 5歳児7名
③	ベルで遊ぼう(和音の響きの心地よさ)	5歳児6名
④	音楽会へ向けての取り組み	4歳児10名 5歳児7名

活動内容① サンシャイン水族館、イケ・サンパーク遠足

環境をデザインする

- 準備したもの・環境設定
- ・イケバス
- ・サンシャイン水族館
- ・イケ・サンパーク

探求活動の実践

- 活動内容・子供の様子
- ・幼稚園からイケバスに乗り、サンシャイン水族館とイケ・サンパーク遠足に行った。水族館では、様々な音を聴きながら、海の生き物を見たり、イメージを膨らませたりした。また、イケ・サンパークでは、友達と一緒に遊ぶことを楽しんだ。



振り返り

- 気づき
- ・水族館内では、じっくりと見学し、様々な海の生き物に興味をもつことにつながった。
- ・遠足を通して、学級の友達とより仲良くなることができた。

活動内容②遊び歌ステージへの参加

環境をデザインする

探求活動の実践

振り返り

- 準備したもの・環境設定
- ・幼稚園のホール
- ・外部講師の演奏ステージ

- 活動内容・子供の様子
- ・外部講師「あきらちゃんとジャンプくん」を招聘し、リズムに合わせて体を動かしたり、歌ったりした。
- ・近隣の保育園と地域の未就園児も招待して実施した。



- 気づき
- ・日頃から保育活動で親しんでいるリズムを、外部講師の演奏に合わせて行ったことでより楽しく表現活動をすることができた。
- ・外部講師の動きや言葉かけにより、一人一人がのびのびと表現することにつながった。

活動内容③ベルで遊ぼう④音楽会に向けた取り組み

環境をデザインする

探求活動の実践

振り返り

- 準備したもの・環境設定
- ・ベルハーモニー、ハンドベル、トーンチャイム
- ・「区民ひろば椎名町」のホール
- ・合奏をするための様々な楽器

- 活動内容・子供の様子
- ・「ベルで遊ぼう」では、様々な種類のベルに触れ、それぞれの音色を楽しみ、一人一つのベルハーモニーと同じ色のシールを使って楽譜を作り、演奏をした。
- ・「音楽会」では、様々な楽器に親しみ、「楽しみだね」「ドキドキするね」と言いながら、保護者や地域の方の前で合奏と歌を披露した。特に、年長児は、自分たちで合奏に使う楽器や演奏の仕方を考えた。



- 気づき
- ・ベルの鳴らし方による音の変化に気付いたり、和音の響きの心地よさを味わったりした。
- ・学級の友達と一緒に演奏したり歌ったりする楽しさを味わうことができた。
- ・たくさんの保護者や地域の方の前で発表し、満足感や達成感を味わうことができた。